

令和5年10月21日（土）、奈良県橿原市において、関西慶應寮和会第23回定例懇談会が開催されました。にわかに仲秋の冷やかさが感じられる中、会員19名にご家族3名を含む計22名の出席により実施に至りました。

＜出席者＞ 19名（会員のみ・敬称略・部分参加も含む）

寺沢 (S38商)	相本 (S41法)	酒井 (S42法)	井汲 (S45文)
宮 (S46商)	松尾 (S47経)	青嶋 (S52工)	袖岡 (S55商)
山代 (S55法)	松永 (S58工)	松谷 (S60工)	阪本 (S61商)
永末 (S61経)	小堀 (S63商)	竹崎 (H02法)	豊田 (H03理)
井内 (H04商)	浄住 (H05経)	宮崎 (H16経)	

## I 第1部 橿原神宮参拝 (13:00～14:00)

今回は、平成26年以来2度目の開催となる奈良での開催となりました。お昼過ぎに集合、まずは橿原神宮を参拝しました。

橿原神宮は、第一代天皇である神武天皇が橿原宮で即位したという「日本書紀」の記述に基づき、畝傍山麓に明治23年(1890年) 4月2日に創建されました。御祭神は神武天皇と媛蹈鞰五十鈴媛皇后（ひめたたらいすずひめこうごう）です。本殿は民間有志による神宮創建の請願に感銘を受けられた明治天皇より下賜された京都御所の内侍所（ないしどころ）を移築したものです。天業恢弘（てんぎょうかいこう・天子の事業を推し広めること）・世界平和を旨とするこの社について、ボランティアガイドのご案内の下、改めて学び直しました。

## II 第2部 今井町内散策他 (14:30～17:30)

近鉄橿原神宮前駅から近鉄八木西口駅に移動、江戸時代の古民家が現存し、往年の面影を色濃く残している今井町へと歩を進めました。

### ①年次総会および砂田薫さん(日吉寄宿舍OB)卓話(14:30～15:30)

まずは、砂田薫さん（S52文）が経営する今井町見晴らし茶屋「ももや」にて年次総会を開催。今回は役員改選期にあたり、次期(R6.1.1～R7.12.31)役員体制について満場一致で承認されました。

〔次期役員〕 会長 青嶋義晴(S52工) 会長補佐 西村元秀(S53商)  
 会計 松永修 (S58工) 会計監査 井内達彦(H04商)



橿原神宮外拝殿から望む内拝殿



外拝殿前で全員集合



奈良にお越しの際には今井町見晴らし茶屋「ももや」に是非

総会終了後は、同店自慢のスイーツ・お茶をいただきつつ、砂田さんの卓話を拝聴しました。【ももや→ <https://momoya.org/>】

砂田さんは、京都市生まれの大阪市育ち。平成22年まで朝日新聞社に勤務、平成25年からのお茶の水女子大学特任准教授等の要職を務められた後、令和2年4月より今井町に「ももや」を開業されました。幼少時のご苦労から、産官学民4セクターを横断した「キャリアのサイクルヒット達成」の後、愛する古民家の町で同店を開くに至った経緯まで、楽しくも有意義なお話をいただきました。

## ②今井町散策（15:30～17:30）

卓話の後には、今井町内を砂田さんに案内いただきました。

今井町の成立は、戦国時代に一向宗の門徒により寺内町が開かれたことに発します。織田信長上洛時には、本願寺に呼応し抗戦、結果降伏するものの「万事大坂同前」として自治特権を許されました。その後、江戸時代にかけて商業都市へと変貌し、「大和の金は今井に七分」といわれるほど繁栄しました。

現在も大半の町家が大切に保存され、江戸時代の姿を残すこの町を愛でながら、その栄華に想いを馳せました。



砂田薫さん



江戸時代の姿を残す今井町

## Ⅲ 第3部 懇親会（18:00～19:30）

砂田さんに近鉄大和八木駅近くまでお見送りいただき、奈良食堂（奈良県橿原市）にて、懇親会が開かれました。

地元食材を使った料理に舌鼓を打ちながら、散策の疲れを癒す、楽しい宴席となりました。

## Ⅳ 編集後記

今回も皆さまお元気にお集りいただくことができました。学びを深める場としての定例懇談会ですが、今回は寄宿舍OBである砂田さんに協力いただいたことにより、いつもに増して有意義な会となりました。砂田さん、皆さま、誠にありがとうございました。

砂田さんの信条は「人生は出会いと発見と解決」とのこと。何世代にも跨って、私たち関西慶應寮和会の進むべき道もまた同じかと思った次第です。

今後も楽しく有意義な活動を続けていく所存ですので、皆さまよろしくお祈りします。



以上

町の西端今西家住宅前で全員集合



いつも和気藹々の懇親会